



3月 ちとせだより

2024. 3. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

2023年度、最後の3月を迎えました。毎年この時期は、保護者から「年度の最後を迎えるのは、このクラスが終わってしまうのは、寂しいなあ」という声をよく聞きます。大変な子育ての毎日を通しながらもこの時期を迎えると、1年を振り返ってみて子どもたちがそれぞれの歩みの中で、成長していることを実感されているからではないでしょうか？

成長といっても様々な成長があります。スキルや新しい知識を身につけていくことも成長です。「あれができるようになった。これもできるようになった。」目に見えてわかりやすい成長は誰もが理解しやすいものです。努力や訓練の中で見出されることが多く、人とも比較されやすいものです。年長児は、4月から小学校に進み、義務教育の中で文字や数字など学んでいくことになります。

これらの学びは生きていく上で、とても大切なことであり、避けられない道でもあります。しかし、幼稚園ではあえて小学校での学びに対する準備として文字や数字に取り組むような保育はしてきませんでした。幼児期の子どもたちにとっての幼稚園は、家庭から離れ、親や教諭が管理するものではなく、子どもたち同士が自由に関わることが許された、そのような環境の中で「あそぶ」ことができる場所でなければなりません。あそびを通じて、人と関わり、力を合わせたり、時には競ったり、喜んだり、悲しんだり、泣いたり、笑ったり、怒ったり、様々な感情と出会い、自分自身で生きているという実感を子ども自身が味わう体験が必要です。まさにこのような体験から得られる力が、生きる力、生きる意欲につながり、目に見えない成長として、子どもたち一人ひとりに与えられるのではないのでしょうか。

子どもたちが、これから歩いていく道もきっとバリアフリーのように平らなものではなく、でこぼこしてたり、曲がり道があったり、時には行き止まりだったりするかもしれませんが、力強く生き生きとした表情で自分らしく歩いて行って欲しいと願っています。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

(エフェソ信徒への手紙 2章 17節)

3月主題 「なかまと心はずませて」

聖句 「主よ、あなたの道を教えてください。」

(詩編 86編 11節)